

令和2年度 第2回古賀市男女共同参画審議会会議録

○日時: 令和元年8月19日(水) 15時30分～17時00分

○場所: 古賀市役所第1委員会室

○傍聴者: 0名

○出席者

- ・委員(五十音順・敬称略): 倉富、松本(正)、阪井、中西、魚谷、松尾、木庭、松本(留)
(計8名)、欠席2名
※欠席者 小田邊、清原
- ・事務局: 市民部長、人権センター課長、男女共同参画・多様性推進係係長、同係員

○配布資料

- ・資料1-1; 1-2: 令和2年度古賀市男女共同参画計画実施状況報告書(令和元年度分)
点検・評価(案)について
- ・資料2: 質問事項(各課からの回答)
- ・資料3: 計画の実現に向けた効果的な取組方法の助言
- ・資料4: ぴか☆イチ
- ・資料5: 古賀市パートナーシップ宣誓制度まるわかりガイドブック

1. 開会あいさつ

市長よりあいさつ

委員、事務局メンバーの自己紹介

2. 内容

(1) 審議

令和2年度古賀市男女共同参画計画実施状況報告書(令和元年度分)

点検・評価(案)について

事務局: 令和元年度分の点検評価案について、配布資料1-1、1-2をもとに説明。

委員: 資料1-2、Iの部分に書いている「地域で高齢化と併せて「無関心層」が増える傾向があるとは、何をもってそういえるか。

委員: 自治会に加入しない、地域と関わりたくない人が増える。加えて高齢化が進み、活動のキーマンとなる人が少ない。この現状からそういう表現をとった。

委員: 資料1-1 総括の質的にも評価の解釈について、各課の各事業の達成状況は回数、人数といった量的に何%だけで示されるわけではなく、内容的にも、課題及び成果についても、はっきり示し、それを点検・評価の議論にもってい

くべきだと考える。

事務局：今後、実施状況報告書と点検評価シートにおいて、成果と課題をより見やすくなる工夫を検討させていただきたい。

会長：資料2のコスモス市民講座についての確認。市民講座では、参加者に対して、あえて性別を把握するようにしているか。

事務局：はい、性的マイノリティの方への配慮として、平成30年度から、全庁的に性別欄を設けない取組を実施している。職員の目視であれば、男女比がわかるが、正確な集計をしていない。

委員：資料2の女性委員全くいない委員会について、もちろん法律（弁護士）、医学（医者）、遺跡調査（考古学）の分野では、女性専門家が少ないのは現状ではあるが、その状況の中で、男女共同参加の視点からどのようなアプローチが必要なのか、考えるべきである。

委員：男女比や女性委員の割合を求めるが、性的マイノリティの方はどうなるか。難しい問題だと思うが、パートナーシップ制度を掲げながら、男女比にこだわる議論に違和を感じる。性的マイノリティの方は身近にたくさんいる。このような取組に対して、その方たちの気持ちも考えて、進めないといけなと思う。

会長：男性だけでなす委員会はやはり問題だと思う。多様性の尊重という視点で、一つの性別に偏らないところを配慮していただきたい。

事務局：男女共同参加の視点から再度担当課に確認し、回答させていただきたい。またその分野での女性専門家が少ないのは現状であり、他の市町村との調整も必要かと思うが、依頼をかける方法を今後検討していきたい。

委員：資料2の「性の逸脱」という表現は配慮が足りないではないか。「HIV、性感染症に対する正しい知識の普及啓発を図る事業内容」なら、なお慎重にするべきである。

副会長：学校現場でも、HIV等の教材を扱う一番大きな視点はやはり差別につながるないようにというところだ。

委員：自治体への加入促進、地域と関わりたくない層を減らすために、今後の取組どう考えているか

事務局：まちづくり推進課に意見を伝え、情報共有させていただきます。

事務局：本日いただいた意見を含め、令和2年度古賀市男女共同参画計画実施状況報告書（令和元年度分）点検・評価については、再度事務局にて調整し審議委員

の皆様へメール及び郵送にてお示ししたい。その後会長、副会長に承認していただくこととしたい。

委員：承認

(2)その他

事務局：男女共同参画市民事業所意識調査について報告
パートナーシップ宣誓制度について報告
性の多様性に関するハンドブック作成についてお願い

3. 事務局からの連絡事項

報酬・費用弁償の支払いについて
会議録について

4. 閉会